

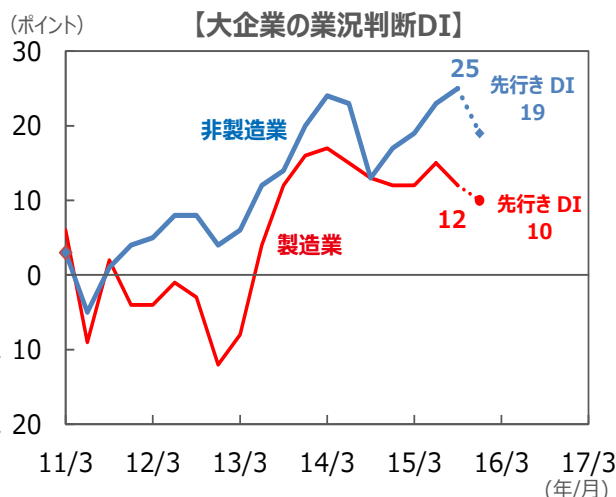
今日のトピック

日銀短観、設備投資計画が上方修正

ポイント1 大企業の先行きDIが悪化

大企業・非製造業は足元堅調

■1日に発表された9月調査の「日銀短観」では、大企業・製造業の「業況判断DI」(最近)は+12(前期比▲3ポイント)と3期ぶりに悪化しました。また「先行きDI」(先行き)は+10とこちらも悪化しました。一方、大企業・非製造業は、最近が+25(同+2)と4期連続の改善となりました。先行きは+19と悪化しました。大企業製造業・非製造業ともに先行きDIが悪化していますが、中国の景気減速など外部環境の不透明感が強まっていることが背景と言えそうです。



ポイント2 利益計画は上方修正だが 下期慎重に

設備投資計画は上方修正

■今年度の経常利益計画は上方修正されました。6月調査でマイナスの見通しだった上期がプラスに転換したことが要因です。下期は慎重な見通しとなりました。

■一方、大企業・全産業の設備投資計画は前年度比+10.9%と、6月調査の同+9.3%から上方修正され、2桁の伸びとなりました。製造業の年度見通しがマイナスに転換しなかったこと、非製造業の下期計画が大幅に上方修正されプラスに転換したこと、が背景です。企業の設備投資に対する意欲は維持されていると思われます。

(注)データは2011年3月～2015年12月(四半期)。2015年9月までは業況判断DI(最近)。2015年12月は9月時点の先行きDI。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【大企業の売上高、経常利益、設備投資額】 (前年度比、%)

		2015年度		2015年度(上期)		2015年度(下期)	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率	(計画)	修正率
売上高	製造業	0.9	0.0	0.8	0.0	0.9	▲0.1
	非製造業	0.1	▲0.2	▲0.9	▲0.9	1.1	0.5
	全産業	0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.6	1.0	0.3
経常利益	製造業	3.8	3.0	7.0	7.6	0.9	▲1.0
	非製造業	5.6	4.1	7.5	8.0	3.5	▲0.1
	全産業	4.7	3.5	7.3	7.8	2.1	▲0.6
設備投資額	製造業	18.7	0.0	26.3	▲2.4	12.7	2.1
	非製造業	7.2	2.4	10.4	▲0.9	4.7	5.2
	全産業	10.9	1.5	15.7	▲1.4	7.3	4.2

(注)修正率は前回調査との比較。
(出所)「日銀短観」を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 追加の金融緩和などに期待

■9月調査で、企業の業況判断が年末にかけて悪化することが確認されました。しかし、業況判断が悪化する中でも、下期の経常利益の下方修正が小幅であること、設備投資が堅調であることが注目されます。

■今後は、中国経済の動向など外部環境に注意する一方、7-9月期のGDPが2期連続でマイナスとなるかなどが焦点となりそうです。堅調な設備投資に対する意欲を維持するためにも、追加の金融緩和や補正予算による景気対策の実施が期待されます。

ここも チェック!

2015年 9月29日 日本の主要企業の業績見通し
2015年 9月28日 最近の指標から見る中国経済 (2015年9月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。